

平成 23 年 11 月 12 日  
国際石油開発帝石株式会社  
広報・IR ユニット  
(電話 03-5572-0233)

ブラジル、フラージ鉱区近傍における油流出について (お知らせ)

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、関連会社のインペックス北カンポス沖石油㈱を通じて、ブラジル連邦共和国カンポス沖合のフラージ鉱区において石油の生産および開発作業を進めております。

今般、フラージ鉱区近傍の海上において、10m<sup>3</sup>程度の油膜が広がっていることが確認されました。現在、プロジェクトオペレーターのシェブロン社を中心に、油膜を除去しつつ環境への影響を最小限に留める活動を行っており、あわせて当該鉱区の開発坑井エリア近傍において、原油の流出元の調査を継続しています。

なお、生産中の施設には問題がないことが確認されていますので、現在も原油生産は継続しております。

以上

「補足・関連情報」

ブラジル連邦共和国 フラージ鉱区

権益比率：シェブロン 51.7% (オペレーター 本社：米国)、ペトロブラス (ブラジル国営石油会社) 30%、フラージ ジャパン ペトレオ リミターダ Frade Japão Petróleo Limitada (FJPL) ※18.3%。

※当社、双日株式会社および独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) が設立したインペックス北カンポス沖石油株式会社のブラジル現地法人子会社